

紫波

人と地域をつなぐ広報紙

SHIWA-NET
ネット

6

No.865 | 2013

表紙の
写真

さわやかな五月晴れに恵まれた5月22日、虹の保育園(伊藤典子所長)の5歳児28人が、志和地区にある新里哲之さんの水田の一角で田植え体験を行いました。児童たちは、はだで田んぼに入り、泥の感触や冷たさに歓声をあげながら、「ひとめぼれ」の苗を手で丁寧に植え付けました。太陽と子どもたちの笑顔がまぶしい情景に、終始周囲の笑い声も絶えませんでした。

特集
02

しあわせづくり福祉プラン



町の話題 テントまつり



スポットニュース ツバメの子育て



町の話題 ミズバショウまつり

もくじ

- 08 すこやか号の路線が変わります
- 10 異聖歌碑前祭
- 11 2013まちづくり座談会
- 12 環のくに紫波

- 14 健やかランド紫波
- 18 スポットニュース
- 24 シリーズ行ってみよう 番外編
「絵本の中のクッキング」



しあわせづくりに みんなで参加して みませんか

地域の中で見つけた、

いろいろな「気づき」や思いをまとめて

『しあわせづくり福祉プラン』ができました。

これまで、どこの地域でも、「お互いさま」や「結いつこ」などは、当たり前のように行われ、「お互いへの思いやり」や「助け合いの気持ち」は、地域の風土や習慣として受け継がれてきました。しかし今、それが薄れがちになっているようです。

「しあわせづくり福祉プラン」は、誰もが安心して、心豊かに暮らすことのできる地域にしていこうためのものです。地域の中で、誰でもいつでも自由に、しあわせづくりに参加できるよう「みんなで考え、みんなで参加してみませんか」と提案しています。

地域の中で見つけた、いろいろな気づきや思いをまとめてみました。



探訪
わがまち
ふるさと
紫波ネット
SHIWANET

「しあわせづくり福祉プラン」 が目指すもの

みんなで助け合い、誰もが安心して暮らすことができる「まち」にしよう

みんながめざす地域の姿（目標）

1

みんなが一人の
人として尊重され、
健康でいきいきと
暮らせる地域

2

みんなが主人公で
それぞれのできる
ことが活かされる
地域

3

みんなの
支え合いで、
安心して暮らせる
地域

人づくり

みんなの参加をめざしましょう

日頃から支え合う
気持ちを大切にして、
ボランティアや地域の
行事にも積極的に参加
してみませんか。



絆づくり

みんなでやさしく
支え合いましょう

地域に住む皆さん、事業所、
各種団体、行政などが、
それぞれの役割を担いながら、
お互いに協力し、共に支え合い
ながら絆を深めて
いきましょう。

場づくり

みんなが笑顔になれる
場をつくりましょう

人と人が出会い、会話を
することにより、新たな絆が
生まれたり、自分の居場所が
できたりと、さまざまな
輪が広がります。

活動づくり

みんなで楽しみながら
活動しましょう

みんなが知恵を出し合って、
楽しい組織活動やボランティア
活動を行って
いきましょう。

安心・ 安全づくり

みんなが住みよい
地域にしましょう

日頃からみんなで、防災、
防犯、交通安全に対する意識を
高め合い、できる活動を
行っていきましょう。



地域で、町で、
地域と町が一緒になって…
私たちにどんなことができるだろう。
みんなで考えてみよう。

※特集では、地域で暮らす人々や関係機関・団体、
事業者、行政などを総称して「みんな」と
記載しています。地域のしあわせづくりを
紫波町民みんなで考えましょう。

町のみんなの思いとは…？

東日本大震災の対応から見えてきた地域の姿を民生委員さんからお聞きしたほか、車座会議で聞こえてきた地域の現状や「こんな地域になったらいいな」という思い、「こんなこともあるなあ」という気づきが、地域の人たちの共通の思いとしてつながり、「しあわせづくり福祉プラン」ができました。お聞きした気づきや思いをまとめてみました。

福祉ネットワークがある

いつまでも若く、心も体も健康な状態でありたい

助け合いとつながりが深まったらいいな

地域で支え合うことで安心して住み続けることができる地域

住む人みんなが安心して暮らせる地域

二重にも三重にも支え合う仕組みづくりが大切

細かい情報を伝えなくとも要援護者であるという情報を共有する術がほしい

地域に愛情を持ち、今より暮らしやすくしようとする人がいる

みんなの笑顔と助け合いでつくる私たちの地域

地域がきれいで、心も気持ちよい地域

安心して子どもを産み育てられる

理想の地域ってどんな地域かな？
みんなで話しあってみよう。

子育てを助ける仕組みがある

何かあったら駆け込める地域の防災拠点
がほしい

雇用の場が少なく
未就業者が多い

独身者が増えて
いる

近所付き合いを増やし、
孤独なお年寄りを減らしたい

笑顔で人生の最後を迎えたい



合い言葉は「お互い様」
みんなで声を掛け合い
支え合う紫波

自分の情報を発信
することも大切

お互い様の気持ちを持
って声を掛け合える
地域

頼れる人が地域に
いる関係があるとい
いな

生活の状況に応じて
頼れる仕組みがあ
るといいな

日頃から地域に関
わる気持ちが必要

誰でも寄ってしゃべ
れる場所がある

普段からのつなが
りが大事だと思った

地域になじめ
ない人がいる

3.11以後、区長と民
生委員の結束が固く
なった

地域の文化を絶やし
たくない

高齢者には先人の知
恵があり災害時の備
えがしっかりしている

若者に魅力的な
地域

世代を超えて
楽しく笑顔で
暮らせる文化を
大切にする地域

交通手段が無く、買
物ができない人が
いる

福祉施設が不足
している

隣近所で井戸端会
議の風景がなくな
った

地域のことを知
っている若い世代
が少ない

縁+安心+
心の余裕
=幸せ

「いこいの家」を
もっと広げてい
きたい

「縁」の行き交
う地域でありたい

支え合いから心
に余裕が生まれる
状態だと良い

笑顔で過ごせる
地域でありたい

子育て世代には
嬉しい自然環境
がある

自分のことで
精一杯で地域を
見る余裕が無い

相談の場、仕組
みが不足している

地域福祉は民生委員
や特定の人だけが
担うのではなく地
域で考えよう

で「つながり」を深めています



上町かだる会

(古館地区)

「笑って暮らせる上町にしたい」
楽しみながら無理せず活動すること
を大事にしています

○始まりの思い

「みんながつながることで、支え合えるようなことができないものか。会則なしで、まずはみんなで集まろう。体が弱って家から出なくなりそうな人にも声掛けして仲間に迎えたり、若いころの話を聞いたり、マージャンや将棋など好きなことを一緒にやったり、地区のために何かやれることを見つかったりする会を作ろう！」という思いが「かだる会」の活動につながりました。

※「かだる」とは、紫波町の方言で「参加する、交わる、入る、話す」という意味です。

○大事にしていること

活動方針は、「楽しみながら地域のたしになる何かをしよう」ということ。楽しみながら活動することが一番大事。だから無理



なくできる範囲で活動する、楽しいからこの会に集う、集うことでつながるということを大切にしています。かだる会は、ゆるい会です。

○こんな活動やっています

- ・活動は、月1回500円会費。
- ・毎月「上町かだる会・通信」を発行。通信を見て参加したくなったという人も。地域の共感を得るためにも情報発信は大事。
- ・家族から離れた仲間同士の時間をつくる。
- ・元気な人たちが、弱って家から出られなくなっている人たちを仲間として迎える居場所づくりにも。
- ・城山の整備、城山探訪、できるかぎりの公民館の手入れ。



この地域にある「松ぼっくり山」の整備活動の様子

自主防災について考えよう

(古館地区)



活動内容

古館地区社会福祉協議会の活動には、地域の中で、日頃からさまざまなテーマについて意見を交わしたり、地域活動を紹介したりする「福祉交流会」があります。ここから、地域課題の解決の糸口が見つかったり、問題意識の共有が図られたりしています。

プライバシーを守りながら、地域で支え合う手段として、緊急連絡先や体の状態などを記し備えておく「ふれあいカード」を作り、全戸に配布。

また、「自主防災」がテーマの話し合いが発展し、地区公民館で避難所開設訓練を行いました。

防災福祉マップをつくろう

(日詰地区)



きっかけ

民生委員が発起人となって、行政区域長に相談。行政区域長とともに、各地区の町内会役員の皆さんにも呼びかけ、「日詰地区防災福祉マップ説明会」を開催し、マップの重要性について勉強会を行いました。

活動内容

町内会ごとに地域の皆さんに呼びかけ、独自のマップづくりの話し合いが進められています。

いろいろな取り組みが行われています！

地域の中で楽しみながら「しあわせづくり」に取り組んでいる方々が
いらっやいます。どんな思いや気づきがあったのか、お聞きしました。

こんな活動

吉水支え愛クラブ

(水分地区)

「地域がさみしいな」と思つて
団塊世代のみんなで動き始め
たら、どんどん地域が元気に
なりました

○始まりの思い

自治公民館の活動計画の話し合い
の中で、自分たちが住む地域の高齡
化率が年々高くなっていること、ま
た元氣な団塊世代が地域にたくさん
帰ってきていることなどの話題が提
供され、吉水地区の実情にあった地
域づくりを進めていこうと方向性が
打ち出されました。自治公民館の役
員が中心となつて、「高齡者の生きが
い支援と地区の環境保全」を目的に
60歳以上の会員による「吉水支え愛
クラブ」が発足しました。

○大事にしていること

地区民が、顔を合わせ、語り合える
場を多く設けるような取り組みを自
治公民館活動に取り入れています。
「できる時、できる人が、できること
をできる範囲で」活動しています。



みんなで熱心に水辺調査

○こんな活動やっています

「昔は、この辺りにはホテルがたく
さんいたったなあ。子どもたちにも
見せたいなあ」という声から「ホタ
ルの里づくり」事業を開始。具体的
には、環境勉強会、水路の掃除、水
辺調査など。
・活動を進める中で、地域内の交流が
活発になり、独居高齡者世帯の屋敷
林や周辺の清掃草刈り活動、除雪作
業などにも発展。
・体を動かす活動はできないけれど、
「会のメンバーとして何か地域に役立
ちたい」という会員は、昔の吉水地区
の様子を若い人に話して聞かせた
り、昔の写真を公開して、ふるさと
の良さを伝承する活動に取り組んで
います。



いろいろな
きっかけがあるんだね。
自分たちにもできることがありそう。
小さなきっかけから探して
みようかな。

地域の活動を応援しています

ここで紹介した活動のように、町の皆さんが
自ら課題解決に取り組む時に活用できる補助金
として「紫波町地域づくり活動補助金」があり
ます。毎年5月ごろに町が募集し、一般の人を
交えた公開審査会で交付団体を決定します。

【補助金の問合せ】

企画課 協働支援室 ☎672-2111 内線 3241



地域の子どもたちを知ってもらおう

(赤石地区)

きっかけ

数年前に、子どもたちへの不
審者の声掛け事業が多発したこ
とがきっかけ。普段から地域の
方々とあいさつしたり、声掛け
をしてもらつてこそ、何かあつた
時に地域で子どもたちを守つて
もらうことができるのではない
かという声、親たちからあが
りました。

活動内容

子どもたちが、自ら情報を発
信するコーナーをつくりまし
た。毎年、自治公民館に自分たち
の写真を張り、名前はもちろん、
屋号や家の場所、好きな勉強や
遊びなどを紹介しています。



なんバザ前停留所の様子

紫波町コミュニティバス 「すこやか号」の 路線が変わります

運行は
7月下旬
から

町内各地域を運行する循環路線が増えます。停留所が新設・変更されます。「すこやか号」は、交通弱者の交通手段確保を目的に、町が企画し、岩手県交通株式会社が運行主体となつて運行している「コミュニティバス」です。

現在運行している路線は、前回の見直しから6年以上が経過しており、これまでにいただいたご意見・ご要望を反映した路線変更を行っています。

変更する5つのポイント ～どんなところが変わるの？～

① 町内各地域を運行する循環路線が、4つから6つの路線に増えます。

各地域をきめ細かく運行できるように、乗車している時間も短縮されます。

② 中心部を運行する路線が、けやき通り線、桜町線の2路線になります。

③ 停留所が20カ所新設されます。

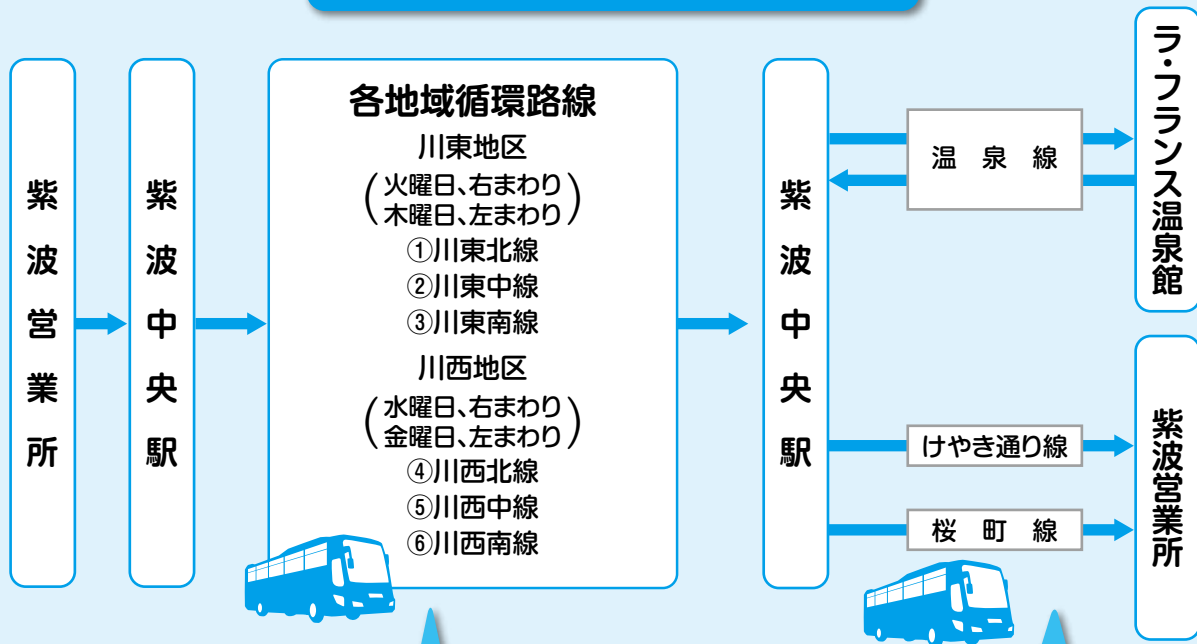
停留所までの距離が短くなり、バスを利用しやすくなります。新設停留所には、「常川」、「長洞」、「甘木」、「木戸」、「田沢」、「足澤整形前」、「赤石支所」などがあります。

④ 循環路線の見直しに伴い、効率的に運行するため、「志和仲町」停留所の場所が変わります。



⑤ 温泉線への乗り換え場所が、「紫波地域診療センター」から「紫波中央駅」に変更になります。

見直し後運行イメージ図



主な停留所

川東地区(火、木曜日運行)

① 川 東 北 線	② 川 東 中 線	③ 川 東 南 線
紫 波 二 中 前	フ ル ー ツ パ ー ク 南	フ ル ー ツ パ ー ク 南
西 長 岡	木 戸 脇	大 内 渡
大 志 田	船 久 保	佐 比 内 保 育 所
山 屋	行 人 平	館 前
紫 野 入 口	川 原 町	牛 の 頭
道 の 駅	大 内 渡	野 上
犬 草	大 地 町	大 地 町
紫波中央駅～紫波中央駅 75分	71分	74分

川西地区(水、金曜日運行)

④ 川 西 北 線	⑤ 川 西 中 線	⑥ 川 西 南 線
紫波総合高校前	境 田	廿 木
下 松 本	牡 丹 野 橋	犬 渚 公 民 館
温 泉 館	権 現 堂	岡 田
田 沢	金 田	上 久 保 公 民 館
両 沼	古 稻 荷	漆 立 公 民 館
前 郷 公 園	温 泉 館	土 手 田
稲 村	平 沢 北 通 公 民 館	京 田
紫波中央駅～紫波中央駅 56分	56分	59分

主な停留所

火曜日から金曜日まで

温 泉 線
平 沢 北 通 公 民 館 北
芽 吹 き 屋
温 泉 館
け や き 通 り 線
足 澤 整 形 前
ナ ッ ク ス
赤 石 支 所 前
桜 町 線
か じ 町 通 り
な ん バ ザ 前
紫波地域診療センター



詳しい路線図、時刻表については、後日、各世帯に配付します。

童謡と短歌でしのぶ

異聖歌碑前祭



石碑に向かって、童謡を歌う参加者たち

「たきび」の作詞でおなじみの名誉町民異聖歌を顕彰する碑前祭は、40回忌の4月24日、総合運動公園の「水口」の碑前で行われました。日詰地区先人顕彰会（内城弘隆会長）、紫波短歌会、紫波童謡の会、日詰公民館が主催。「小さいもの、弱いものを愛した聖歌は、童謡にも、子どもや動物をたくさん登場させている。ぜひ子どもたちにも歌い継いでほしい」と内城会長。約50人の参加者は、聖歌が作詞した童謡をみんなで歌い、短歌や詩を朗読して、聖歌に思いをはせていました。



聖歌が作った詩「水口」が刻まれている石碑

会員を募集 しています



藤本春治会長

歌が好きな人ならどなたでも大歓迎です。興味のある人は、自由に見学にいらしてください。参加したいと思った人は、ぜひ一緒に歌いましょう。
(年会費3000円)

■ 問合せ ■

紫波童謡の会
事務局 佐々木 (☎672-5353)



多くの会員の皆さんが参加する定例会

サークル 紹介

紫波童謡の会

みんなで一緒に歌う楽しさを感じて

紫波童謡の会は、平成2年に町内の有志10人によって発足した、童謡唱歌を愛する人たちの集まりです。現在の会員は45人。町の先人、異聖歌の顕彰活動などにも取り組んでいます。
毎月第2金曜日に日詰教会で開催されている例会では、参加者全員で歌を合唱。歌われる歌は、季節の歌や異聖歌が作詞した歌、時代背景に合わせた歌などさまざまです。現在は、7月に行われる「いわて童謡唱歌雪石のつどい」に向けて、みんなで歌詞を見ないで歌えるように頑張っているそうです。

皆さんの声が、
まちづくりに
生かされます



昨年の情報交流館会場の様子

2013まちづくり座談会

町からの話題

「しあわせづくり福祉プランについて
～地域福祉計画～」
「オガール、次なに建つの？」

(上記以外の話題もお話しただけです)

■日程

月 日	時 間	会 場
6月25日(火)	午後7時～9時	赤沢公民館
6月26日(水)	午後7時～9時	上平沢小学校
6月27日(木)	午後7時～9時	長岡公民館
6月28日(金)	午後7時～9時	佐比内公民館
6月29日(土)	午前10時～正午	彦部公民館
6月29日(土)	午後1時30分～4時	赤石公民館
6月30日(日)	午前9時30分～正午	古館ふれあいホール
7月6日(土)	午前9時30分～正午	紫波町商工会館 (保健センター向かい)
7月6日(土)	午後1時30分～午後3時30分	水分公民館

【問合せ】企画課 情報政策室 ☎672-2111 内線3232

町の行政について、日頃、疑問に感じることや気になっていること、詳しく聞きたいことなどはありませんか。皆さんのご質問やご意見を、町長や各部課長が直接伺う「まちづくり座談会」を次の日程で開催します。いずれの会場も、どなたでも参加できますので、ご都合に合わせてお出かけください。幅広い年代からのご参加をお待ちしています。

※当日は『紫波ネット6月号』をお持ちください。資料として使用します。

市民参加

都市計画マスタープラン意見交換会

町の土地利用や都市施設整備などについて平成13年に定めた「都市計画マスタープラン」を見直すにあたり、右のとおり意見交換会を開催します。どなたでも参加できますので、皆さんの貴重なご意見をお聞かせください。

【問合せ】

都市計画課 まちデザイン室 ☎672-6876

月 日	時 間	会 場
6月15日(土)	午前9時30分～11時30分	古館公民館
6月17日(月)	午後7時～9時	中央公民館
6月18日(火)	午後7時～9時	水分公民館
6月20日(木)	午後7時～9時	赤石公民館
6月21日(金)	午後7時～9時	彦部公民館

企業の森づくり

新たに、情報労連岩手県協議会が協定

握手を交わす(左から)藤原孝町長、情報産業労働組合連合会岩手県協議会議長の三浦清氏、町内森林所有者の吉田泰博氏、NPO法人紫波みらい研究所の阿部礼子理事長

紫波企業の森づくりに関する協定 業労働組合連合会岩手県協議会・森林所有者・紫波町・特定非営利活動法



企業が社会貢献活動として、町内の森林保全活動をする「紫波企業の森づくり事業」。7社目として情報産業労働組合連合会岩手県協議会と新たに協定を結びました。

締結式は、5月7日に役場第一会議室で行われ、同協議会と地権者、NPO法人紫波みらい研究所、紫波町の4者が協定書に署名しました。協定により、同協議会は、紫波みらい研究所の支援を受けながら南伝法寺上山新田地域の民有地約0.4haの間伐などを行います。

早速6月1日には、今年度の活動として、約40人が参加し、間伐材の搬出や枝打ちなどの作業を実施。作業の合間には、作業指導している「森の寺子屋塾」スタッフから、伐採の実演や森林整備の必要性などについて説明を受けました。伐採された木材は、森林組合がチップに加工し、ラ・フランス温泉館に熱供給を行うチップボイラーに活用されることから、木質バイオマスエネルギーの利用促進につながると期待されています。

ライトダウン キャンペーン が始まります

6月21日(金)から7月7日(日)までの間、「ライトダウンキャンペーン2013」が開催されます。ご家庭の unnecessary 照明をこまめに消灯するよう努め、温室効果ガスの削減にご協力をお願いします。

◎6月は「環境月間」です。節電・省エネをはじめ、身近な環境保全活動を意識しながら過ごそうに心がけましょう。



(株)東北銀行の作業風景



TOTO東北販売(株)の作業風景

今年度の 活動 スタート

紫波町、NPO法人紫波みらい研究所などと森づくりに関する協定を締結している(株)東北銀行、TOTO東北販売(株)による活動がそれぞれ城山公園内と長岡地区で行われました。活動は年2回が計画されており、今季初となった今回は、下草刈りを中心とした活動が行われました。

循環型まちづくり 委員を紹介します

町は5月9日、紫波町循環型まちづくり委員に対し、委嘱状を交付しました。任期は平成27年3月31日までの2年間で、15人の委員を2つのグループに分け、それぞれがワークショップ形式で「まちづくり」について課題を決めて話し合い、その結果を全体会議で発表し、意見交換を行います。

◆循環型まちづくり委員

◎小野寺三郎、○石幡信、阿部くに子、小笠原久子、菊地圭二、工藤正志、工藤睦夫、佐藤けい子、瀬川峰雄、高橋國男、高橋伸、多田正紀、富岡義昭、村松武徳、山田やう子

※◎は委員長、○は副委員長 50音順(敬称略)



辞令交付を受ける小野寺委員長

一緒に学びませんか～環境学習・活動紹介～

【平成25年度版】

環境学習プログラム名	対象	実施団体
循環型まちづくり施設見学会	どなたでも	紫波みらい研究所
身近な川の水質・生物調査	どなたでも	環境マイスター紫波
水のゆくえ・水環境講座(出前講座)	小学生	環境マイスター紫波 紫波みらい研究所
川下り体験と河川環境学習	小学生	川を知る会
純石けん水環境学習(出前講座)	小学生	紫波みらい研究所
小学生のための体験型環境学習	小学生	紫波みらい研究所
エコ・省エネの出前講座	どなたでも	環境マイスター紫波 紫波みらい研究所
電気の節約、水の節約の紙芝居	どなたでも	紫波町観光案内人 しゃ・べーる
ごみ分別説明会	どなたでも	環境マイスター紫波 紫波町環境衛生組合連合会
段ボールコンポスト講習会	どなたでも	紫波町ごみ減量女性会議
「あかざわ川」水生生物探検発見隊	小学生以上とその保護者	環境マイスター紫波 開催日:7月27日(土)
環境探検隊(沢登りと自然観察)	小学生とその保護者	紫波みらい研究所 開催日:7月28日(日)
城山の植物と生き物の観察会「城山自然学校」	小学生以上とその保護者	環境マイスター紫波 開催日:9月21日(土)
自然体験教室「森のあそび場“りんくる”」	小学生以下の子どもとその保護者	紫波みらい研究所 開催日:8月18日(日) ※年4回開催を計画

このほかにも、さまざまなプログラムがありますのでお問い合わせください。

■問合せ 環境課 循環政策室 ☎672-6892

今ある環境を守り、受け継いでいくためには「一人一人が身近な環境を知り、環境に配慮した生活を送ることが大切」。そんな環境への「気づき」のお手伝いをしていく団体がいくつかあります。

左の表は、これらの団体が行っている環境学習プログラムです。自ら講座を開催したり、学校で出前講座をしたり、イベント時に体験コーナーを開くなど、さまざまな「気づき」の機会を提供しています。皆さんの地域の活動や子ども会行事などにいかがでしょうか。



自然観察会の様子



身近な川の水生生物調査



波紫ランドやか健

健康
HEALTH

「噛む」ことの大切さ

6月4日から10日は「歯と口の健康週間」です！

もう一度、「噛む」ことの重要性について確認してみましょう。

この「噛む」運動は、文明の進化とともに回数が少なくなり、江戸時代の約2分の1、弥生時代の6分の1以下になっています。「噛む」ことは体の健康づくりにとても重要です。

食べ物のおいしさを感じるための「噛む」という働きは、とても重要です。「おいしく」と感じる心が食欲を生み、食べ物のだまざまな栄養によって、私たちの体はつくられ、維持されています。「噛む」ことは、歩くことや呼吸と同じように、意識しなくても自動的に行われるものですが、意識して早めたり、遅くしたり、また止めたりすることもできます。



ひ 肥満予防



み 味覚の発達



こ 言葉の発音をはっきり



の 脳の発達



は 歯の病気予防



が がん予防



い 胃腸快調



ぜ 全力投球



「噛む」ことの効用
～ひみこのはがいーぜ～

【学校給食研究会より提供】

子どもの発育発達にも「噛む」ことは大切な行為です。
噛みごたえのある食べ物をよく「噛む」と、脳の発育を活性化し、口や顎の正常な発育を促し、運動能力や体のバランスを向上させるといわれています。
虫歯になると十分に「噛む」ことが難しくなります。子どもも大人も健康な歯を保つように、心掛けましょう。

参考〈3歳児歯科健診 う歯有病率〉

平成10年度	平成15年度	平成20年度	平成24年度
43.5%	34.8%	28.4%	23.0%

※徐々にう歯（虫歯）のある子どもは減っています。

心のほっと相談室

「五月病」ってなんだろう？

■「五月病」の症状

5・6月ごろに多く見られ、一般に知られるようになった「五月病」。新しい生活が一段落する5月ごろに、それまで知らず知らずのうちに蓄積されていた心身の疲れ、新しい環境や人間関係などについていけないストレスなどのせいで「やる気がでない」「ふさぎこんでしまう」などの状態になることをいいます。

■「適応障害」や「気分障害」の可能性も

しかし、「五月病」は正式な病名ではありません。五月病だと思いついていただけで、実際には、同様の症状が現れる「適応障害」や「気分障害」といった可能性もあります。適応障害は、5・6月だけでなく、人によっては9月ごろに発症するなど、その発症は季節を限定しません。

■「適応障害」になった人の40%がうつ病に

適応障害になる人は、人口の1%といわれています。また、適応障害と診断されてから、5年後には40%以上の人がうつ病などと診断されています。つまり、適応障害はその後の重篤な病気の前段階の可能性もあるといえます。

適応障害の原因には、「新しい環境や人間関係が思うようにいかない」、「大きな目

標を達成したことにより、次の目標を見失ったり、混乱したりする」、「想像していた新生活と現実のギャップについていけない」などがあります。

■適応障害とうつ病の違い

適応障害は、ストレスとなる原因から離れると症状が改善することが多くみられます。例えば、仕事上の問題がストレスとなっている場合、勤務する日は憂うつで不安も強く、緊張やめまい、汗をかくなどの症状があるかもしれませんが、休みの日には憂うつ気分も少し楽になり、趣味を楽しむことができる場合もあります。しかし、うつ病の場合、環境が変わっても気分は晴れず、持続的に憂うつ気分は続き、何も楽しめなくなり、これが適応障害とうつ病の違いです。

■自分も周りも気に掛けよう

気分の異変が続くようであれば、適応障害や気分障害などの可能性を考え、できるだけ早く病院に行くことが大切です。

学校や職場など生活環境が絶えず変化する時代です。自分自身はもちろん、周りの人に辛そうな様子はないか、気に掛けてあげましょう。



問合せ 福祉課 福祉推進室 ☎672-2111 内線1523

からだよろこぶヘルシーレシピ

なすの梅マヨ和え

梅干しを使ったさっぱりしたおかずです。夏バテ予防の1品におすすめです。

材料(直径15～20cmの丸型1個分)

ナス …… 中2～3本(200gくらい)
梅干し …… 小さめのもの2～3個
マヨネーズ …… 小さじ2

酢 …… 小さじ1/2
白ゴマ …… 小さじ1
青ジソ …… 適量

※ナスや梅干しの大きさによって、調味料を加減してください。

【長寿健康課 佐々木絵里子栄養士のレシピです ～平成24年度地区普及講習会の献立より～】

つくりかた

- 1 ナスはヘタを取り除き、縦半分に切ってから斜めに薄切りにする。
- 2 ①を少量(小さじ1/2程度)の塩でもんだら、水で洗い流して軽く絞り水気をきる。
- 3 梅干しは種を取り除いて粗めに刻み、マヨネーズ、酢と混ぜ合わせる。
- 4 食べる直前に②と③をあえる。
- 5 お皿に盛り付けたら、白ゴマとせん切りにした青ジソを載せて出来上がり。



大根やキャベツなど色々な野菜でアレンジできます。赤い梅干しで作るときれいな色に仕上がります。

のどかな春 山屋ミズバショウまつり

第9回山屋ミズバショウまつりは5月3日、山屋地区で開かれました。見頃を迎えたミズバショウと国の重要無形民俗文化財指定を受けている山屋田植踊を見るために、大勢の人が来場。山屋夢づくり実行委員会の菅原正勝実行委員長は「ここでは、群生を広く見渡すことも、木道を歩きながら花を間近に見ることもできます。皆さんに楽しんでもらえればと思います」と目を細めていました。



つややかな白い花々が、来場者の目を楽しませていました

「町の鳥」ツバメの子育て 赤沢地区



それぞれの親鳥がヒナや卵を大切そうに見守っていました

赤沢地区にあるレストラン果里ん亭の軒下で、ツバメの子育てが本格化しています。4月から巣づくりが始まり、5月29日に2羽のヒナがふ化。これ以外にも、3つの巣に合計10個の卵が確認されています。橘純也店長は「ツバメは毎年来るが、こんなにたくさんさんの巣が作られたのは初めて。6月中旬ごろには、ヒナが飛行訓練を始めるので、皆さんに楽しんでもらえれば」と笑顔でした。

初夏の朝日を浴びて 早起き野球開始

紫波町早起き野球大会開会式は5月12日（日）の朝5時10分から、運動公園野球場で行われました。野球愛好者の親睦と、体力と技術の向上、心身の鍛錬を目的に行われているもので、9月に開催される県大会への出場権をかけ、7チームによるリーグ戦が、8月下旬まで繰り広げられます。



星山クラブ阿部力選手が「野球ができる環境に感謝し、正々堂々プレーすることを誓います」と選手宣誓

伝承する作業唄 南部酒屋唄 全国大会

グランプリ大会で優勝した三上紀子さん



南部酒屋唄全国大会は4月28日、J-Aいわて中央パーフルパレスで開催されました。酒造りの機械化により衰退しつつある作業唄を後世に伝承するために始まった本大会は今回で3回目。『元摺り唄』と『流し唄』の70歳以上の部と一般の部、『元摺り唄』の年少の部の5部門に総勢132人が出場しました。各部門の最優秀賞受賞者によるグランプリ大会では、『流し唄』を歌った三上紀子さん（盛岡市）が優勝し「難しい唄だけれども、流れを考えながら無我夢中で歌いました」と喜びの表情でした。

地域と生活、食文化が 片寄小田植え



泥の感触を楽しみながら丁寧に植えました

片寄小学校（小原眞一校長）の田植え体験は5月22日、校舎北側の7アールの水田で行われました。全校児童80人が、保護者、地域の方々30人ほどと一緒に、約7000株の苗を植え付け。指導にあたった（株）高橋農園の高橋淳（あつし）さんは「片寄地区は水田地帯。子どもたちには、稲作と生活、食文化のつながりを学んでほしい」と話し、5年生の畠山愛未（まなみ）さんと高橋秀佳（よしか）さんは「タニシやヒルがいて大変だったけど、最後までできてよかった。おいしくて安全なお米に育つといいです」と、豊作を願っていました。

一中生がジャガイモの 植え付け体験

紫波第一中学校（岩泉康喜校長）の2年生238人は5月29日、北日詰にある（有）高橋農産（高橋信社長）の農地でジャガイモの植え付け体験を行いました。生徒たちは、約190kgの量の種芋を、30cm間隔で植え付け。生徒からは「ジャガイモづくりがこんなに大変だとは思わなかった」との声が聞かれ、指導にあたった高橋美喜子さんは「ジャガイモがどのように育つのかを知ってもらえればと思います。料理方法なども調べてみるとよいかもしれませんね」とアドバイスしていました。



班ごとに協力しながら体験しました

体験を楽しむ来場者でにぎわいました。釜石市から、家族や友人と訪れた桜井徹さんは「ロープワーク教室が楽しかった。家族連れにはとてもいい経験」と満喫の様子。佐々木会長は「この機会に、いろいろな体験をしてもらい、興味を持つ人が増えてくれれば」と期待の表情でした。



水分小学校を出発するきびきびとしたパレード

水分地区で 第34回交通 安全パレード

水分小学校（橋本昌好校長）は5月1日、第34回交通安全パレードを行いました。肌寒い天気の中、全校児童95人が、最後まで息のあった演奏と行進を披露。途中に立ち寄った水分児童館で、指揮者の佐藤駿（しゅん）都君が「自転車や自動車に気を付けていただきますか」と声を掛けると、子どもたちからは元気な返事が返ってきていました。児童たちの元気な演奏とパレードに、地域の皆さんは目を細め、交通安全の誓いを新たにしている様子でした。

充実した 野外体験 テントまつり

岩手県キャンプ協会（佐々木繁夫会長）主催の「テントまつり」は5月3、4日にオガールプラザの芝生広場で開催されました。テント設営やロープワーク、ツイストパン作り、ポップコーン作りなどが行われ、

空き缶を使ったポップコーンづくりに挑戦する来場者たち



町内最高齢 工藤ソノさんが105歳に

工藤ソノさんが5月28日に105歳の誕生日を迎えるのを前に、27日、通所している特別養護老人ホームにいやま荘（高橋恒行所長）で、お祝いの会が開かれました。工藤さんは明治41年生まれで、赤沢地区在住、好きな食べ物はウナギ。招かれた藤原町長は「100歳のころよりも若返っているよう。ぜひ日本一を目指して頑張ってください」とお祝いの言葉を述べました。特大ケーキや漆原栄美子さんからの歌のプレゼントもあり、工藤さんは「ありがとうございます」とうれしそうでした。



藤原町長から花束を受け取る工藤さん

日誌8区 町内会報が 300号達成

日誌8区町内会（長谷川利夫会長）が発行している町内会報が、今年の4月15日号で300号を達成しました。内容は、町内会の活動や関わっている人の紹介など。町内会全世帯と地区内事業者などを対象に毎号245部を作成しています。前事務局長である阿部英二さんが平成7年5月に発刊し、112号からは、現事務局長の石



300号を手にする石井さん

井春美さんが担当。「直近の話題をお知らせしたい」という思いから、両面刷りや月2回の発行などにも取り組んできました。「町内会に興味を持っていた皆さんが、地域との結びつきを大事にしていく環境づくりの一助になれば。これからも『継続は力なり』をモットーに頑張ります」と喜びを語っていました。

一番いい顔を遺族へ 「復元納棺師」笹原留似子さんが講演

行政区長協議会（北條文雄会長）は5月28日、復元納棺師笹原留似子さん（株式会社桜代表取締役）を講師に招き、ナックスホールで特別講演会を開催しました。行政区長や一般参加の町民130人ほどが参加。津波

の遺体を、家族へ会わせてあげたい、もう一度抱きしめてもらえるようにという思いは、地元のみならず全国から応援にきた警察官や消防団、自衛隊の協力により実現できたものと笹原さん。来場者は皆、笹原さんのお話に、心を打たれた様子でした。



スライドを用いてお話しする笹原さん

「ルール電子図書館」 講習会開催

「食」と「農」に関する情報を簡単に検索できるシステム「ルール電子図書館」の使い方についての講習会が5月16日、図書館で開かれました。講師は、同システム開発者である農山漁村文化協会の藤井宏一氏。農業従事者など11人が参加し、植物の病気や販売促進、冷夏対策などについて調べる方法を尋ねていました。同システムは、図書館で無料利用が可能。多数の出版物が見られるだけでなく、すぐに実践できる情報を得ることもできます。

※1枚10円でプリントアウト可能。詳しくは図書館にお問い合わせください。

■紫波町図書館

☎（671）3746



実際にシステムを体験している参加者たち



➤ 催し

元気はつらつウォーク第1弾!! 勝源院の逆ガシワ 見学ツアー

参加料無料で、どなたでも参加できます。初心者も大歓迎です。

■日時 6月29日(土)

午前10時～正午

■コース オガールプラザから勝源院 約5km

■集合 情報交流館 1階 市民交流ステージ

■服装・持ち物 歩きやすい服装・靴、飲み物、タオル、雨具、リュックサックなどのバッグ

■申込・問合せ

長寿健康課 健康推進室

☎672-4522 有線01-8991

歩いて健康づくり! 元気はつらつ メンバーズ養成講座 「ウォーキングコース」

自然の景色を楽しみ、みんなで楽しくウォーキングをしませんか。初心者も大歓迎です。

■日程

7月4日、7月11日、8月8日、9月5日、9月12日、10月3日(各木曜日)

全6回 午前中(8月8日のみ午後)

■場所 町内外で実施します。保健センターに集合し、バスで出発地点まで移動。

■受講料 1000円

■定員 25人

■申込・問合せ

長寿健康課 健康推進室

☎672-4522 有線01-8991

「気象と暮らし」 セミナー開催

日常生活に生かせる気象情報について、盛岡地方気象台から講師を招き、講演会を開催します。どなたでも参加できますので、お申し込みの上、お出かけください。

■日時 7月2日(火)

午前10時～午前11時40分

■会場 中央公民館 第一研修室

■内容 講話「紫波町の気象状況の特性と情報の利活用」

■申込・問合せ

6月28日(金)まで 中央公民館

☎672-3372 有線01-2922

親子わらべうたで あそぼう会

わらべうたに合わせて親子で楽しくゆったりと遊び会です。動きやすい服装でお出かけください。

■日時 6月24日(月)

午前10時30分～11時30分

■場所 中央公民館 和室

■問合せ 菅原 ☎673-6291

オガールプラザオープン周年記念 葛西道之孔版画展

日詰地区出身の教育者である、故葛西道之氏の孔版画作品の展示会が行われます。

■日時

6月7日(金)～6月30日(日)

■会場 情報交流館 2階 市民ギャラリー

紫波町花めぐりツアー

紫波町観光案内人「しゃ・べーる」

が案内するツアーが開催されます。

■日時 7月21日(日)

午前8時45分 紫波中央駅前集合

■コース 紫波中央駅前(午前9時発)→五郎沼→小田中染工場→光圓寺→紫波農園・浅沼養鶏場・ビューガーデン(昼食)→陣ヶ岡→佐比内公民館→あじさいロード→赤沢産直→紫波中央駅前(午後4時着)

■参加料金

お一人 3800円(昼食・保険代込み)

■定員 30人(最小催行人数20人)

■申込・問合せ 7月12日(金)まで

定員になり次第締め切り

紫波中央駅前観光案内所(紫波中央駅隣、紫波環境循環PRセンター内)

☎671-2245/FAX671-2243

森のクラフト教室

自然の木材を使った雑貨づくりに挑戦してみませんか。体験料は無料で、どなたでも参加できます。お申し込みの上、お出かけください。

■日時 ①6月23日(日)午前10時～正午、午後1時～3時30分

②6月30日(日)午前10時～午後3時

■会場 農楽交流館(紫波中央駅隣、紫波環境循環PRセンター内)

■内容

①ウッドバーニング(焦がし絵)

②エコクラフト(間伐材で動物・昆虫の置物制作)

■定員

①午前と午後、各5人ずつ ②10人

■申込・問合せ 農楽交流館

齊藤 ☎070-6494-7684

(受付時間:午前9時～午後5時)

FAX672-6900

ドライバー募集!

職種/①4トン県内配送ドライバー ②長距離ドライバー

資格/①要中型免許(旧普通免許) ②要大型免許

勤務/変形労働時間制

休日/当社規定

給与/①170,000円～220,000円
②250,000円～350,000円

待遇/社会保険、労災、退職金制度有

未経験でも
積極採用

安心の研修制度あります!
お気軽にお問い合わせ下さい

UNYU 三光運輸株式会社

☎ 019-672-5400

〒028-3311 紫波町犬刈字南谷地32番地17 FAX 019-672-5577 担当/藤原・伊藤

曠野をわたる そよ風に薫も匂う...

創立100周年

盛商同窓会紫波支部総会

(紫波町・矢巾町)

◆日時/平成25年7月7日(日) 午後5時(終了後懇親会)

◆場所/ショッピングセンターナックスホール ☎019-672-1810

◎懇親会費/男性4,000円 女性3,000円(当日受付)

※申し込みは7月3日(水)までにお願いします。

参加
申込

支部事務局 菅原一(S47卒)

TEL019-672-1842 FAX019-672-1843

携 帯 090-5352-8148

※単身入居は1LDK、2Kタイプに限る。
※空室が発生した場合は追加します。

■申込

6月17日(月)から6月28日(金)までに
①申込書(担当課備付)、②住民票の
写し、③収入額を証する書類、④その
ほか必要に応じた書類などを提出。

■問合せ

土木課 施設管理室 ☎672-2111
内線5143 有線01-8911

在宅介護のご家庭へ 「尿とりパッド」支給 のお知らせ

町は、在宅介護で紙おむつを常時
使用しているご家庭に「尿とりパッド」
を支給します。

■対象 町内在住で、自宅で生活し
ている要介護3以上の人

■支給品 尿とりパッド1カ月相当分

■申請方法 「介護保険証」「認印」
をご持参の上、保健センターで手続
きをしてください。申請書は、保健セ
ンターのほかに町内の「居宅介護支
援事業所」にもあります。

■支給方法 内容を審査のうえ、支
給決定通知後に保健センターでお渡
しいたします。(9月下旬から10月上
旬を予定)

■申請・問合せ

7月1日(月)から7月26日(金)まで
長寿健康課 高齢者支援室(保健センター内)
☎672-4522 有線01-8991

パソコンを使った 複式農業簿記研修

パソコンを利用した簿記記帳の習
得を目指す研修が開催されます。

■日時 7月29日(月)～31日(水)

午後1時30分～4時30分

■会場 矢巾北中学校コンピューター室

■対象 パソコンを活用した複式農
業簿記に関心のある人

■定員 30人程度

■費用 テキスト代1600円

(研修初日に集金します)

■申込・問合せ

平成25年7月16日(火)まで
農林課 農政企画室 ☎672-2111
内線3324 有線01-8902

世界の農業を体験してみませんか 海外派遣農業研修生の募集

海外の農業者のもとで働きながら、
将来の営農に役立つ栽培技術や経営
管理などについて、国際感覚を身につ
けながら学ぶ研修が実施されます。農

業に従事している人、農業の経験はな
くとも関心のある人が参加できます。
詳しくは、国際農業者交流協会のホー
ムページ(<http://www.jaec.org>)を
ご覧ください。

■渡航先 アメリカ・デンマーク・ス
イス・オランダ

■渡航期間 平成26年3月から
(13カ月～19カ月)

■費用 自己負担

■申込・問合せ 7月12日(金)まで
農林課農政企画室 ☎672-2111
内線3324 有線01-8902

男女共同参画の 視点でのまちづくり

男女がともに支え合う心豊かなま
ちを目指して、町の男女共同参画推
進計画や事業を審議していただく委
員を募集しています。選考には簡単
な面接を行います。

■募集人員 若干名

■応募資格 町内に住所か学校、職
場などがある高校生以上の人

■応募方法 6月26日(水)までにお
電話で連絡の上、来庁ください。

■応募先・問合せ

企画課 協働支援室

☎672-2111 内線3241

体験学習(無料)受付中

そろばん・あんざんで計算力アップ!
学習や日常生活に活かされます。

紫波町日詰字郡山駅

石川珠算教室

☎672-2621

岩手県知事認可 紫波町稲穂字升形

関谷珠算学校上平沢教場

☎673-6965



広告を募集しています

町内全世帯に配布される

町の広報『紫波ネット』に

お店や企業の広告を載せてみませんか?

詳しくはお問い合わせください。

掲載料 1枠10,500円(税込み・デザイン料除く)

◆ 申込・問合せ ◆

川嶋印刷株式会社 ☎651-5373 FAX623-6653

新築分譲住宅

桜町浦田にもうすぐ完成!!

新築・土地付きで...

1,980万円 (税込)

【主な設備・仕様】◎システムキッチン(浄水
器一体型水栓・ステンレストップ)◎全居室L
ow-Eガラス◎換気暖房乾燥機付ユニット
バス◎シャープドレッシング◎シャワートイ
レ◎TVモニター付インターホン他
その他、多数物件をご用意しております。
お気軽にお問い合わせ下さい。

広告有効期限:平成25年6月30日



5号棟プラン

【物件概要】●所在地/紫波郡
紫波町桜町字浦田1番7地●
交通/JR東北本線日詰駅徒歩1
5分●構造/木造2階建て●総
戸数/5戸●販売戸数/5戸●
間取/4LDK●土地権利/所有
権●地目/宅地●都市計画/非
線引き区域●用途地域/第一
種低層住居専用地域●建ぺい
率/50%●容積率/100%●現
況/未完成●完成日/平成25
年6月中旬完成予定●道路/公
道●幅員約6m●設備/上下水
道・東北電力LPガス●駐車場/
2台分●学区/赤石小学校・紫
波第一中学校●確認済証/第
H25SHC100661号●確認済
年月日/平成25年1月22日●
取引態様/媒介(売買代金)他
に仲介手数料がかかります

・建物面積
1階...50.62㎡(15.31坪)
2階...46.57㎡(14.08坪)
合計...97.19㎡(29.39坪)
・敷地面積...217.77㎡(65.87坪)

医療保険適用 在宅マッサージ

無料 お試し体験
実施中!!

・歩行が困難な方
・身体にマヒがある方。不自由がある方
・車椅子使用の方など...

お気軽にお電話ください。

☎090-3753-0594

ご病気や障害・高齢等により自力
で歩行通院が困難な方を対象に
した在宅で安心して受けられる医
療サービスです。

あん摩・マッサージ・指圧師の国家資格保持
者が施術します。医師の同意書が必要です。
(書類は治療院にあります)

利用料につきましては、ご加入いただいている
保険によって変わりますのでご相談ください。

レイス治療院グループ
盛岡となん整骨院
盛岡市三本柳10地割17-53
TEL.019-

656-6776



紫波エリア担当 地元地域で活躍していただけるマッサージ師さん募集!!

(株)紫波中央不動産 ☎019-671-2161 紫波中央不動産 検索



(公社)紫波町シルバー人材センター 入会希望者説明会

シルバー人材センターは、高齢者にふさわしい仕事を引き受け、会員に提供する団体です。入会を希望する人は、お申し込みの上、説明会にご参加ください。

■対象 町内在住で60歳以上の人のうち、健康で働く意欲を持ち、社会参加を希望する人

■日時

7月11日(木) 午前9時30分から

■会場

銭形平次会館2階会議室(日詰商店街)※希望者多数の場合変更あり

■申込・問合せ

7月4日(木)まで

(公社)紫波町シルバー人材センター
☎672-1274

児童手当現況届の 提出をお願いします

6月以降の児童手当を受給するためには『児童手当・特例給付 現況届』の提出が必要です。対象者にはあらかじめ用紙を送付していますので、期限までにご提出ください。

■提出書類

- ・『児童手当・特例給付 現況届』送付している現況届の印字内容を確認し、受給者氏名欄に押印してください。
- ・受給者の医療保険証の写しまたは年金加入証明書
- ・上記以外にも書類が必要な場合があります。詳しくは送付している通知でご確認ください。

■提出先・問合せ 6月28日(金)まで
福祉課 こども室

☎672-2111 内線1531

■問合せ 紫波地区地域安全推進協議会 ☎676-5511

クマとの遭遇に注意!

毎年、山菜・キノコ採り、登山、林業作業中などに、ツキノワグマによる被害が発生しています。県内の山のほとんどがクマの生息域ですので、山に入る際には次のことに気を付けましょう。複数で行動する／鈴やラジオで音を出す／常に周囲の様子に気を配る／音が消される強風時や沢沿いは特に注意／夜間、明け方、夕方の入山は避ける／食べ残しは放置せず、密封して持ち帰る／地域のクマ情報を確認してから出かける

■問合せ 環境課 生活環境室
☎672-2111 内線3522

募集

町営住宅の入居者募集

■申込資格

- ①町内に住所または勤務場所がある人
- ②住宅に困っている人
- ③同居予定者を含めた総収入が一定基準以下の人
- ④町税などの滞納がない人
- ⑤暴力団ではない人

■募集住宅・家賃(収入による)

みどりヶ丘(昭和41年築、平屋)2戸

3K 3600円～9700円

2K 3200円～8400円

的場(昭和44年築、平屋)1戸

3K 3700円～8200円

第2希望ヶ丘(昭和47年築、平屋)1戸

3K 4500円～1万4000円

第2希望ヶ丘(昭和49年築、平屋)1戸

3K 5400円～1万3500円

第2希望ヶ丘(昭和50年築、2階建)1戸

3K 9800円～2万1900円

第2希望ヶ丘(昭和53年築、平屋)1戸

3K 8300円～1万6500円

お知らせ

65歳以上の人のいる お宅を訪問しています

町は、体調の確認とともに保健事業や介護予防事業などの紹介を行うため、対象世帯を訪問しています。皆様のご協力をお願いいたします。

■対象

①一人暮らし世帯、②世帯員全員が65歳以上の世帯、③地区の健康相談などでお会いする機会のない65歳以上の人のいる世帯

■訪問者 保健師または看護師

■問合せ 長寿健康課 健康推進室
☎672-4522 有線01-8991

「紫波安心メール」を ご活用ください

紫波地区地域安全推進協議会(紫波警察署内)は、紫波地区内で発生した事件の速報、不審者情報、防犯に役立つアドバイスを随時発信しています。下記ホームページで登録後、情報を受け取ることができますので、皆さんも、事件や事故に巻き込まれないように情報をご活用ください。

■登録方法

<http://sc.machicom.jp/shiwa034>で登録するか、QRコードを読み込ませてください。

■利用料

無料(パケット通信費がかかります)



ホテルゆららオープン15周年記念
セロ弾きのゴーシュ
[大人]2,000円(当日2,500円) 親子で楽しむミュージカル
[小人] 500円(当日1,000円)
日時 6/29日 PM2:00~ 会場 パールパレス
チケット取扱:ラ・フランス温泉館/道の駅紫波レストランかりん亭
紫波町小屋敷字新在家90番地
☎019-673-8555 FAX 019-673-8556
ラ・フランス温泉館 検索
URL <http://www.lafrance.co.jp/>
ハダカのおつきあいで一だんらん。
La France
ラ・フランス温泉館

紫波の風土がみえるワイン
ぶどう栽培農家の思いから生まれた
100%地元産です
お土産に紫波のワインを
自園自醸ワイン紫波
岩手県紫波町産葡萄100%のこだわりワイン
お買い求めは県内酒販店・スーパー・百貨店にて
(株)紫波フルーツパーク 紫波町遠山字松原1-11(道の駅紫波の裏手)
☎019-676-5301 URL <http://www.shiwa-fruitspark.co.jp/>

アメリカシロヒトリの駆除について

アメリカシロヒトリは、幼虫期にサクラ、クルミなどの広葉樹の葉を食い荒す「緑の大敵」です。毎年6月上旬から9月中旬にかけて発生するため、樹木を守るには、発見後、直ちに駆除をすることが大切です。

駆除方法

その1	幼虫が、クモの巣状になっている巣から出ていない段階であれば、ハサミなどで巣ごと枝葉を切り、焼却する方法が一番効果的です。または、ビニール袋に入れてしっかりと縛り、燃やせるごみとして出してください。
その2	幼虫が巣から出て分散している状態であれば、殺虫剤などによる薬剤散布が効果的です。薬剤については、農協やホームセンターなどにお尋ねください。

駆除は、樹木の所有者の責任であり、町は町有地(道路、公園など)以外の駆除は行っていません。各お宅で駆除できない場合は、造園業者に依頼するなどしての対応をお願いします。(料金は自己負担)

〈貸出駆除用機器〉

町は、アメリカシロヒトリを駆除するための動力噴霧器を4台貸し出しています。利用を希望する人は、事前に電話でお問い合わせください。(薬剤は各自でご用意)



アメリカシロヒトリの被害木



アメリカシロヒトリの幼虫

※アメリカシロヒトリ自体は、毒は持っておらず、トゲや針などで人を刺すことはありません。

【問合せ】環境課 生活環境室

☎672-2111 内線3521~3523

有線01-8972



特徴的な「早乙女の笠ぶり」の様子

正解者の中から、抽選で記念品をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしています！

Q国の重要無形民俗文化財に指定されている山屋地区の踊りは何でしょう。(ヒントは16ページ)



郵便はがきまたは電子メールで、住所、氏名、年齢、電話番号、答え、「紫波ネット」の感想を記入の上、ご応募ください。応募期限は7月1日(月)まで。〒028-3392 紫波町役場 企画課 情報政策室「おさらいクイズ」係 電子メールjoho@town.shiwa.iwate.jp

仏壇展示販売会 大好評!

7/6(土)・7(日)

県内トップクラスの売上げをはこる実績と信頼のおける商品を多数展示。全国一の仏壇産地徳島をはじめ、一流産地から直接仕入れ特別価格でご奉仕中。

午前10時～午後6時

仏壇リフォーム無料見積り承ります

会場 シンセラホール 矢巾

紫波郡矢巾町大字又兵衛新田6-110 ☎019-698-1444

岩手県紫波郡紫波町桜町字上野沢278

☎676-7676 FAX676-4404



中央葬祭センター

「シンセラホール紫波」

紫波町に定住・住替をお考えの皆さんへ理想の住まい探しをサポートします。

(社)全日本不動産協会 東北地区不動産公正取引協議会 岩手県知事免許(2)2255号

ウエノ不動産管理(有)
☎671-2072 FAX671-2073
日詰字下丸森9-4 (養老乃瀬 紫波町店となり)
最新情報はホームページへ ウエノ不動産管理 | 検索

この街で宅地・建物の売買、仲介、自社開発分譲を手がけています。ご成約された被災者の方には特典をご用意しています。
※詳しくはお問合せください。



オガールプロジェクトのエネルギー

オガールエリアでは、「エネルギーステーション」を設置し、役場新庁舎、A・D事業街区、住宅街区を含むエリア全域への熱供給を計画しております。燃料は松くい虫被害木、間伐材などを木質チップにして活用し、多くの資本が町外へ流出する石油燃料ではなく、町内で調達できる再生可能エネルギーを使用しています。

「省エネルギーサポートセンター」の設置は、町民の財産であります。オガールタウンの57区画には、大手ハウスメーカーではなく、可能な限り町内企業の参画を促し、循環型まちづくりの趣旨に沿い、環境に優しい暮らしを目指したエコハウスの建設を推奨してまいります。

国内では、暖かい所から寒い所に移動したときに起こるヒートショック現象で死亡する人が、年間1万4000人おり、交通事故死の2.5倍であるといわれています。エコハウスでは朝夕に少し暖房を入れるだけで快適な暮らしが実現できるといいます。夏は涼しく、冬は暖かい住まいは福祉への貢献も期待されます。

エコハウスの建設を推奨するため、町内企業35社の参画により「紫波型エコハウス研究会」を設立しました。町独自の省エネルギー基準に対応した住宅と、町内産木材活用とを合わせて、環境に優しく、作り手の見える地産地消の住宅づくりを推進してまいります。

今後は、既存住宅のリフォームへも展開させ、町民が快適な暮らしを送ることで、町が目指す循環型社会を構築するとともに、環境と福祉のまちの発展を目指してまいります。

藤原 孝

まちづくりコラム ゆいっとサロン

NPOの「こまった」に

ゆいっとサロンは、昨年、NPO法人運営のために2つの講座を開催しました。1つ目の「NPOにしたらどうなる？」では、被災地釜石市・大槌町を中心にガレキのキーホルダーを製作・販売し、被災者の内職を通して、雇用と収入の安定と自立を目的にした活動をしている佐々木英樹さんを講師にお招きました。講座では「任意団体とNPO・一般社団法人との違い」について対比表で説明していただき、一歩進んだ活動やまちづくりを考える機会になりました。佐々木さんご夫妻も被災され、現在は紫波町にお住まいになっています。

2つ目は「NPOの事務は一般会計と違って難しい〜!」という声からNPO法人シニアパワーいわてに講師をお願いし、時系列で事務の流れを学びました。少し難しいお話でしたが、次回は「会計・税務の話も聞いてみたい」という声がありました。

講座参加者の「知りたいこと」は一人ひとり違うと思いますので、今年は「相談カフェ」という形で個別に、気軽に皆さんのお役に立ちたいと思います。どんなささいな相談でもどうぞ。

市民活動のためのなんでも相談カフェ

【日程】

第1回 5月29日 第2回 7月24日
第3回 9月25日 第4回 11月27日

いずれも水曜日 午後2時〜5時

会場 情報交流館2階小スタジオ

講師 NPO活動交流センター相談員 久保協一さんほか

申込 市民活動支援センターゆいっとサロン
(情報交流館内)まで ☎676-2468

市民活動支援センターゆいっとサロン

開設・電話受付時間:午後1時〜6時(月・火曜休み)

☎676-2468

ブログ: ゆいっと気まぐれ日記

<http://yuittosaron.blog78.fc2.com/>

驚きの軽さとしなやかな丈夫さ!
洗練された大人のメガネ!

CHARMANT
eyesis アイシス
セット価格20,000円
(レンズ+フレーム+ケース付)
各眼科処方箋承ります

鏡形平次のあるさと紫波町のメガネ店
眼鏡屋目明かし堂
有限会社 サトウ時計店
<http://www.meakashi.com>

スマホ用QRコード
お買い得駐車場
よかる
松本精肉店
佐藤時計店

GS ● タクシー
お買い得駐車場
よかる
松本精肉店
佐藤時計店

紫波町日誌字郡山駅209 ☎676-2838 日誌バス停前

相心館 Kam Hikoki
割引メニュー実施中

いたずらデザインは
夏カラー 夏ウエーブで
やんちゃに魅せる

口コミが
一番ホット
します
他は予約時に
確認ください

夏は
おてんば娘で
汗がいちゃっても
いいんじゃない?

もっとお得な
メール会員募集中

定休日 6月16日・17日・24日
7月1日・8日

〒028-3303 紫波郡紫波町高水寺宇古屋敷 6-31
TEL 019-676-5825
E-mail kamihikoki@posh.jp

OPEN 8:40
CLOSE 18:00

古馬駅
中島眼科
ローソン
たまり
加藤医院
至花巻
4号線
至盛岡

シリーズ
行ってみよう
番外編

「絵本の中のクッキング」 ～町民提案食育推進事業～

【問合せ】
農林課 食育担当
☎672-6915
有線01-8822

皆さんは、絵本の中に出てくるおいしそうな食べ物や料理に、思わずおなかが鳴ってしまった経験はありませんか。絵本の世界のおいしそうな料理の数々を、町産の南部小麦粉を使い、実際に親子で作る企画「絵本の中のクッキング」が4月から開かれています。来年の2月まで、毎月1回、情報交流館のキッチンスタジオで開催されます。皆さんも参加してみませんか。



読み聞かせの本
「ホットケーキでさがり」
エリック・カール作(偕成社)

5月26日に行われた第2回目のテーマは「焼きたてホットケーキを食べよう!」。親子4組が、ホットケーキといちごジャム、レタスとチーズのハム巻サラダ、簡単フルーツサラダ、コンソメスープを作りました。



図書館
司書による
絵本の読み
聞かせ

楽しいお話とおいしそうな絵に、料理への期待もどんどん高まります。



実際に
親子で料理
体験

親子や参加者同士で協力しながら挑戦。



みんな
で
会食

自分たちの手で作った料理を前に「はやく食べたーい!」との声も。

初めて参加した佐藤萌音ちゃん「はホットケーキを裏返すところが楽しかったー」とうれしそう。お母さんの佐藤育子さんも「読み聞かせもあるので、絵本の中の料理が自分たちの手で作られていくというのは、ただ本を読むよりも楽しさが増えると思いました」と話していました。



参加者の
声

健康には、体の栄養と心の栄養が大事だと思っています。ちょっと手間をかけることで、楽しく、おいしく食事ができます。



講師の横沢きくさん

※今後の開催日程については、紫波ネットで随時お知らせいたします。